

令和8年9月30日
国土交通省関東地方整備局
長野国道事務所

工事発注手続きについて

～「R8国道18号上田B P 蒼久保地区外改良6工事」の発注手続きを行います～

長野国道事務所が発注する「R8国道18号上田B P 蒼久保地区外改良6工事」において、不調・不落対策等を試行、採用します。

工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予想される工事について、不調・不落対策等を試行、採用しています。

今回発注する「R8国道18号上田B P 蒼久保地区外改良6工事」については、以下のとおり不調・不落対策等を試行、採用します。

【不調・不落対策等】

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）【企業実績評価型】
2. 競争参加資格の緩和
3. 難工事指定
4. 余裕期間制度（任意着手方式）
5. 施工箇所が点在する工事の積算

※詳細は次頁をご覧ください。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野県庁会見場 長野市政記者クラブ 長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話：026-264-7001（代表） メールアドレス：ktr-madoguchi-nagano@ki.mlit.go.jp

副所長 小林（こばやし）（内線：204）

工務課長 関（せき）（内線：411）

《工事概要》

- (1) 工 事 名：R 8 国道 1 8 号上田 B P 蒼久保地区外改良 6 工事
- (2) 工事場所：長野県上田市蒼久保地先外
- (3) 工 期：工事の始期から 4 6 2 日間
(但し、令和 8 年 1 2 月 2 1 日（工事着手期限）までに工事を開始すること。)
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）【企業実績評価型】
- (5) 工事種別：一般土木 C 等級
- (6) 工事内容（概要）：【蒼久保地区】

・掘削工	約 9, 0 0 0 m ³
・路床盛土工	約 5, 0 0 0 m ³
・法面整形	約 2 0 0 m ²
・路床安定処理工	約 1, 0 0 0 m ³
・斜路・階段工	1 式
・植生工	約 2 0 0 m ²
・擁壁工	約 4 0 m
・排水構造物工	約 2 0 0 m
・舗装工	約 2, 0 0 0 m ²
・環境整備工	1 式

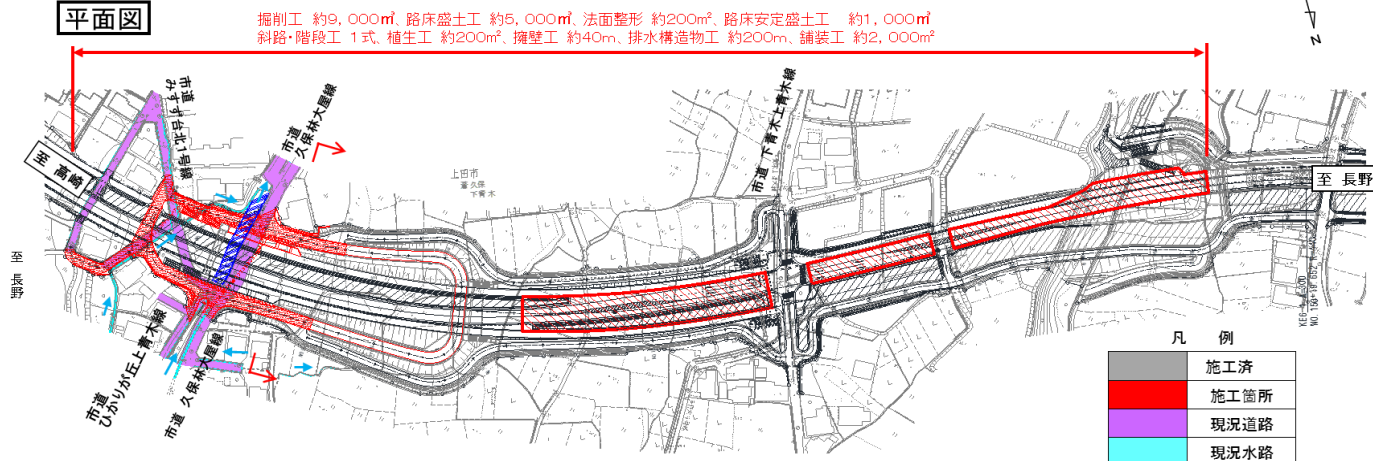
【下之条地区】

・残土処理工	約 7, 0 0 0 m ³
--------	---------------------------

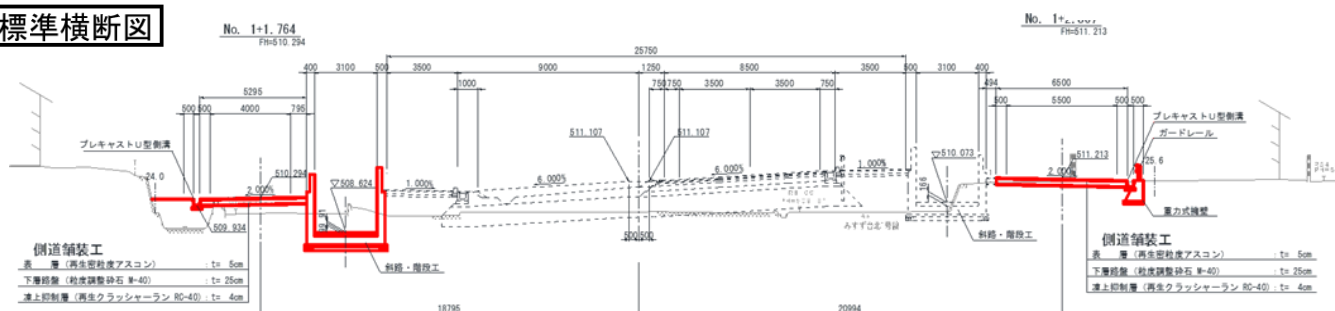
■工事概要図

【蒼久保地区】

平面図



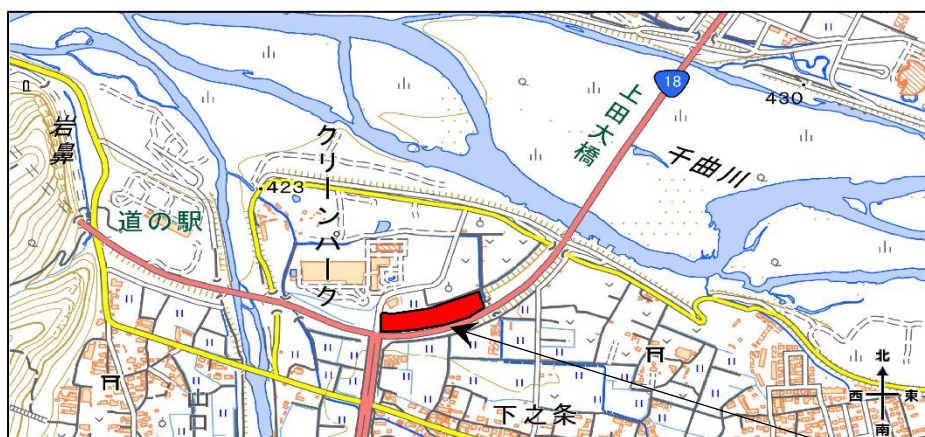
標準横断面図



上空写真

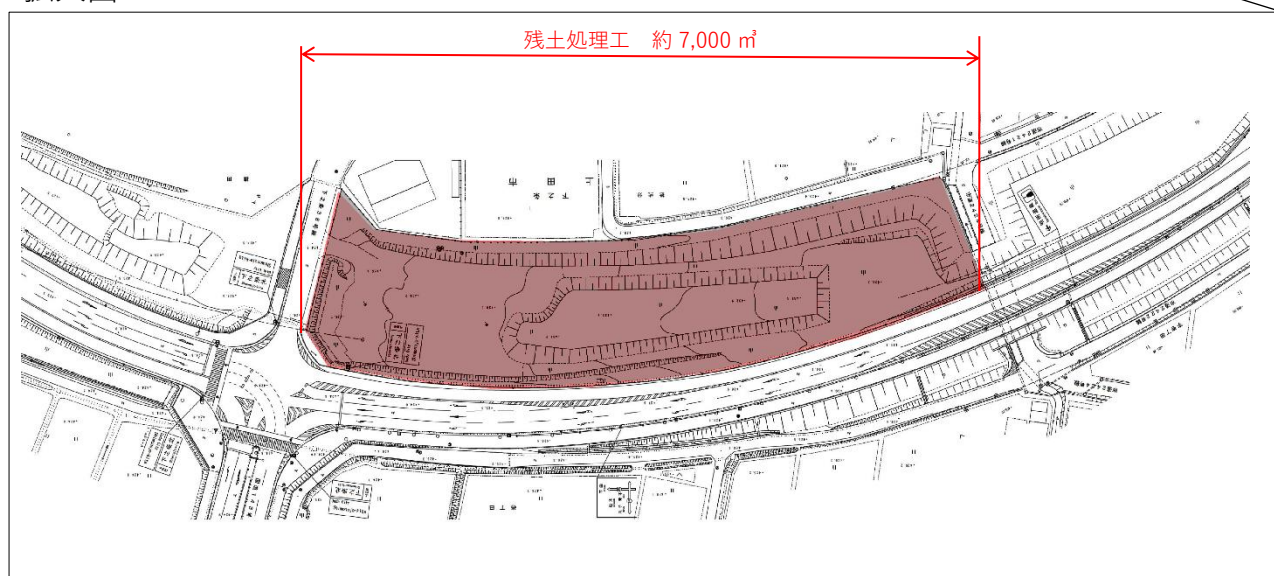


【下之条地区】



出典：国土地理院地図を加工して使用

拡大図



《不調・不落対策等》

1. 公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）企業実績評価型

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について、試行するものです。

特徴は次のとおりです。なお、公共工事の実績のない企業でも参加しやすい方式となっています。

1) 競争参加時に配置予定技術者の申請は不要です。

(参加要件として配置予定技術者の工事経験の設定はありません。)

2) 総合評価における加算点の評価対象は、企業における防災に係る取組姿勢、本発注工事の工事種別における新規契約の有無及び賃上げの実施、ワーク・ライフ・バランス関連認定企業の評価を加算点としています。

3) 過去の工事成績や表彰実績、配置予定技術者の技術力は評価対象としません。

2. 競争参加資格の緩和

1) 企業に求める施工実績の緩和

企業に求める施工実績を「道路土工における土工の掘削又は切土を行った工事の実績（経験）があること。」に限定せず、「土工の掘削又は切土を行った工事の実績があること。」として緩和します。

3. 難工事指定

本工事は、関連工事として複数の占用企業による支障物移設工事があり、占用企業との綿密な工程調整が必要となることから、特にマネジメント特性の厳しい工事であるため、「難工事」の指定を実施します。

「難工事」指定された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加算対象となります。なお、主任（監理）技術者または現場代理人として従事した経験について、審査基準日の月以前の4年間で評価対象となります。

4. 余裕期間制度（任意着手方式）

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、工事着手期限（令和8年12月21日）の間に、受注者は工事の始期を任意に設定することができます。受注者が決定した工事の始期までが余裕期間となります。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

5. 施工箇所が点在する工事の積算について

施工箇所が点在する工事の積算について、建設機械を複数箇所に運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、共通仮設費、現場管理費を箇所毎に算出する「施工箇所が点在する工事の積算」を採用します。本工事の地区は、蒼久保工区、下之条工区となります。

《スケジュール》

○入札公示、入札説明書交付：令和 8 年 9 月 30 日（水）

○技術資料等の提出期限：令和 8 年 10 月 9 日（金）

○入札書・工事費内訳書の提出期限：令和 8 年 11 月 9 日（月）

○開札日：令和 8 年 11 月 12 日（木）

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度

【総合評価方式】

- ✓ 企業実績評価型
→企業における防災に係る取組姿勢と施工実績等を評価
- ✓ 営繕評価型
→営繕関係の工事において採用
- ✓ 自治体実績チャレンジⅡ型
→技術力のある地域企業の新規参入を促すため、一部の工種において採用可とする。

